

01. こどもの居場所とは

|| ここ数年「こどもの居場所」に関する活動が注目を集めています。

こどもの居場所が求められ広がっている背景として、社会環境の変化があります。核家族、共働き家庭、一人親家庭の増加、地域の遊び場や交流機会の減少などはこどもにも大きな影響を与えています。そういった状況の中で、近年では、人とつながること、楽しい食事や様々な体験や安心して過ごすことができる場所、学校に行っていない・行けないこどもたちが過ごす場所、障がいのあるなしに関わらずこどもと一緒に過ごす機会などが不足していると言われています。社会全体でこどもを育てる環境を整えて行くためには、安全で気軽に行けるこどもの居場所づくりの取り組みが求められています。

このガイドブックを通して、こどもの居場所に興味がある、新しく取り組みたい、支援したいという方への活動や取り組みのヒントやきっかけとしていただければ幸いです。

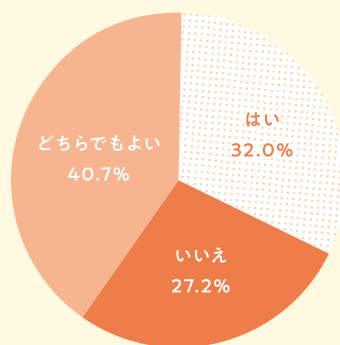


こどもの居場所の実態調査

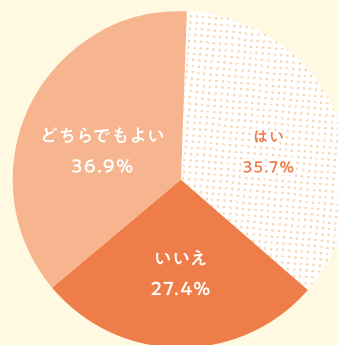
令和6年度に新潟市で、こどもの居場所の実態調査を実施しました。この調査の中から、新潟市の市立小学校・中学校の在校生全員及び、新潟市の高校生を対象としたこどもの居場所について、アンケートの一部を紹介します。

Q. あなたは家と学校のほかにすごせる場所がほしいですか。

小学生・中学生では「はい」の回答が32%であり、家と学校以外の居場所を求めていることがわかります。高校生では「家や学校・職場のほかにすごせる場所がほしいですか。」という質問に対し、「はい」の回答が35%を超えています。

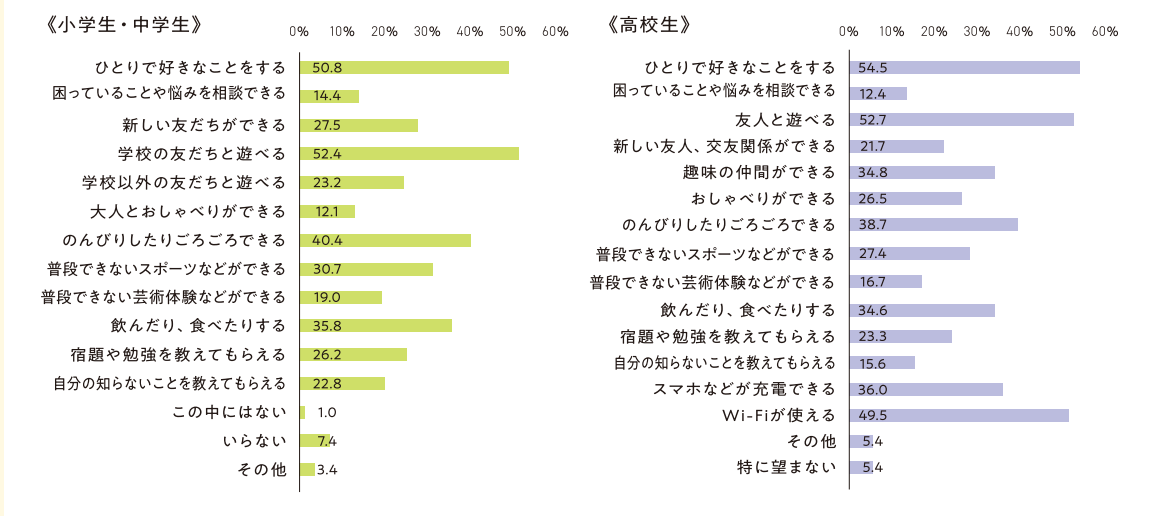


【小学生・中学生】



【高校生】

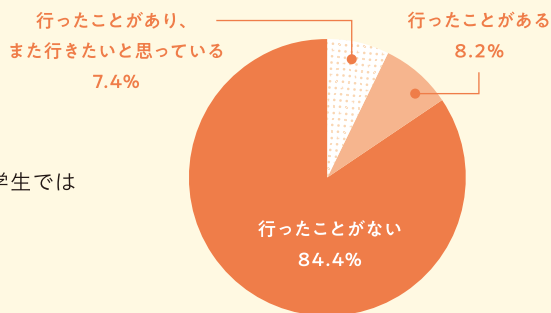
Q. あなたはどんなことができる 場所がほしいですか。



様々な回答が寄せられましたが、小学生・中学生は「ひとりで好きなことをする」、「学校の友達と遊べる」、「普段できないスポーツなどができる」「普段できない芸術体験などができる」という回答が多かったことがわかります。一方高校生では「Wi-Fiが使える」という回答が多かったことが特徴的です。

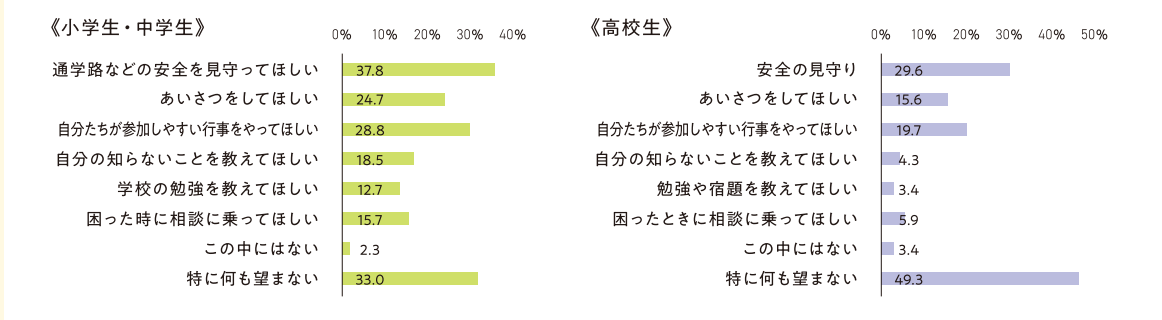
Q. あなたは「こども食堂」に 行ったことがありますか。

近年広がりを見せている「こども食堂」ですが、小学生・中学生では「行ったことがない」という回答が84%を超えています。



【小学生・中学生】

Q. あなたが地域の人に望むことは どんなことですか。



小学生・中学生及び高校生でも「安全に対する見守り」に次いで「自分たちが参加しやすい行事をやってほしい」という回答が多くなっています。

以上のアンケートから見ても、子どもたちは、友だちと遊ぶ等、身近な人とか関わりたいという希望がある一方で、新しいことや普段できないことをやってみたい、地域の人と行事等で関わりたいという「参加する」ということに興味や関心があることがわかりました。

02. 地域で取り組まれているこどもの居場所の紹介

こどもの居場所について主な活動を紹介します。

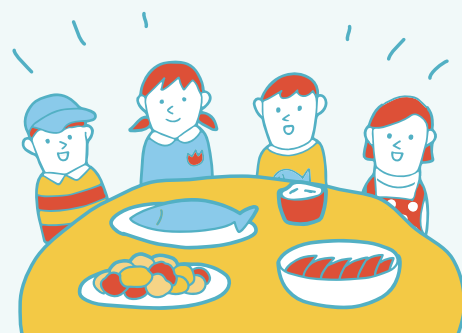
こども食堂

こどもが一人でも安心して利用することができる無料、または低額で食事を提供している居場所です。食事だけではなく、地域のこどもや大人同士がふれあい、交流する場となっています。さらに学習支援を行ったり、食以外の学びや体験の機会を提供する食堂も増えてきています。その他に特定の方を対象に開催される食堂もあります。こども食堂は地域住民が主体となって運営している場合が多くあります。

新潟市では平成28年に県内初となるこども食堂が開催されてから、徐々に広がりを見せており、現在では60カ所以上のこども食堂が運営されています。



なごみの里『すけんどん』(西蒲区)



学習支援

学習する機会を無料もしくは低額で提供する居場所です。勉強の仕方がわからなかったり、一人ではなかなか勉強がはかどらないこどもの学びをサポートしています。学習環境が整っていないこどもたちに学習の機会を提供するために重要な役割を果たしています。新潟市ではこども食堂と一緒に開催されるなど、少しずつ活動が広がっています。



無料塾『TERAKOYA』(中央区)





遊び場(公園/プレーパーク)

遊び場はこどもたちが安全に遊べるよう設置されている居場所です。行政が設置する公園や児童館のほかに、地域や民間で設置されるものとして、プレーパークやフリースペースがあります。公園や児童館は、こどもたちが自由に遊べる居場所の一つになっています。また、新潟市での設置数は少ないですが、安全を見守りながら遊びをサポートするプレーリーダーのいるプレーパークもあり、こどもたちは安心して日常とは違った体験をすることができます。



Akihaマウンテンプレーパーク(秋葉区)



子育てサロン・子育てサークル

子育てをしている保護者やそのこどもが同じような仲間と交流できる居場所です。主に未就学のこどもやその保護者を対象としていることが多くあります。子育ての悩みを相談できる保護者どうしの仲間づくりとこどもの遊び場づくりを目的としています。また、スタッフに育児の相談ができたり、季節の行事などのイベントを適宜開いている子育てサロンもあります。新潟市では、サロンやサークルは現役で子育てをしている方、育児経験のある方など地域の方が主体となって運営しています。



03. こどもの居場所をつくっていきましょう!

仲間を集めましょう

- (1) 運営スタッフを集める
- (2) ボランティアを集める
- (3) 地域の“得意”を集める



見学に行ってみましょう



- (1) 情報収集し見学する先を決める
- (2) 見学希望先に連絡し日程調整する
- (3) 見学日を決定する
- (4) 質問内容を事前に伝える

場所を決めましょう

- (1) 開催時間・頻度に合う場所を探してみる
- (2) 徒歩圏内にあるか、駐車場があるか探してみる
- (3) 場所の候補が決まったら開催できる環境なのか調べる

運営について考えましょう

- (1) 団体の名前や会則・規約について決める
- (2) 開催日のスケジュールを決める
- (3) 活動の財源や参加対象者・参加費を決める
- (4) 役割分担を決める
- (5) 必要な備品・書類・物品について準備する
- (6) 衛生管理やアレルギー等にも配慮する
- (7) 保険に加入する

周知しましょう

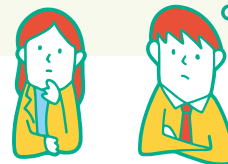
- (1) 地域に周知する
- (2) ホームページやSNSで周知する



オープン

- (1) 可能であればプレオープンする
- (2) プレオープンを振り返り、実際に活動を始めてみる

04. こどもの居場所に興味がある方へ



- **利用したい方** こどもの居場所の場所、連絡先、開催日等を知りたい。
- **活動したい方・活動中の方** こどもの居場所の活動に取り組む際のポイントを知りたい。
こどもの居場所の運営に関する助成金の情報を知りたい。
こどもの居場所に関するセミナー・イベントの情報を知りたい。
- **支援したい方** こどもの居場所に金銭・食品・日用品等の寄付をしたい。
寄付物品の保管場所や活動場所を提供したい。

これらの情報については、
インターネットで情報を提供しています。

新潟市
こどもの居場所
ポータルサイト



(<https://www.niigata-kodomoibasho.jp/>)

社会福祉法人
新潟市社会福祉協議会
ホームページ



(<https://www.syakyo-niigatacity.or.jp/>)



下記の窓口でも相談ができます。

- 社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会 地域福祉課
こども・子育てサポートセンター
(新潟市こども食堂ネットワーク事務局)
新潟市中央区八千代1丁目3番1号 新潟市総合福祉会館内
TEL:025-244-0033
- こども政策課
新潟市中央区学校町通1番町602番地1
TEL:025-226-1193
- 各区社会福祉協議会

区	所在地	電話番号
北区社会福祉協議会	新潟市北区東栄町1丁目1番14号(北区役所1階)	025-386-2778
東区社会福祉協議会	新潟市東区下木戸1-4-1 東区役所内	025-272-7721
中央区社会福祉協議会	新潟市中央区西堀前通6番町909番地 Co-C.G.(コシジ)3階	025-210-8720
江南区社会福祉協議会	新潟市江南区泉町3-3-3 江南区福祉センター内	025-250-7743
秋葉区社会福祉協議会	新潟市秋葉区新津本町1丁目2-39 新津地域交流センター2階	0250-24-8376
南区社会福祉協議会	新潟市南区上下諏訪木817番地1	025-373-3223
西区社会福祉協議会	新潟市西区寺尾東3-14-41 西区役所健康センター棟1階	025-211-1630
西蒲区社会福祉協議会	新潟市西蒲区巻甲4363 巻ふれあい福祉センター内	0256-73-3356